

第2回京都市・乙訓地域公立高校教育制度に係る懇談会

= 配 付 資 料 =

資料 No.	名 称	頁番号
1	普通科類・類型制度の設置趣旨等について	1
2	京都市・乙訓地域各通学圏における普通科の状況	2
3	平成24年度選抜 京都市・乙訓地域募集定員【全日制】	3

普通科類・類型制度の設置趣旨等について

■「京都府公立高校教育制度の改善について」（昭和59年3月）で示した制度の概要

1 基本方針

○全日制普通科における教育課程の類型の設定

特色ある教育内容を準備し、生徒の学習に系統性・計画性・継続性を持たせて教育効果を高めるため、教育課程の類型を設定する。

○全日制普通科における入学者選抜の基本的な在り方

学校間に大きな差を生じさせないことを基本にし、生徒の居住地と入学校との地理的条件を勘案しつつ、一定の範囲で能力や個性に応じて学校や類型の特色を選択できるような選抜制度とする。

2 具体的事項

(1) 特色ある学校の創造

生徒の能力・適性・進路・興味・関心等に応じた複数の教育課程を編成

→教育課程の類型を設定：特色の明確化、焦点化した指導が可能

→いずれかの類型を選択して履修：目的意識の共通化による生徒相互の

(2) 類型の内容等

○各学校（普通科設置校）に、第Ⅰ類及び第Ⅱ類を置く。

→受検者にとって分かりやすい。どの高校でも類に応じた同等の教育を展開する。

○入学者選抜時に、類（第Ⅱ類・第Ⅲ類は類型も）を選択する。

→受検者が自分の適性や進路を見つめる機会となる。

第Ⅰ類（学力充実）

普通科目の履修について全体的にバランスをとり、基礎的・基本的事項を重視して、学力の充実を図る教育課程を基本とする。

- ・生徒の幅広い適性や進路を考慮した類型の設定：文系・理系・一般系など
- ・第2学年から類型別の学習を開始

第Ⅱ類（学力伸長）

普通科目の履修を中心として学習内容を拡充、高度化し、学力の伸長を図る教育課程を基本とする。

- ・生徒の適性や進路に応じた類型の設定：人文系・理数系・文理系・外国語系など
※昭和60年度：京都市内・乙訓地域の各校に人文系と理数系を設置
- ・第1学年から類型別の学習を開始

第Ⅲ類（個性伸長）

普通科目の履修を通じて学力の充実を図ることを重視するとともに、特定の教科・科目の履修により、個性の伸長を図る教育課程を基本とする。

- ・生徒の適性や進路に応じた類型の設定：体育系・芸術系など
- ・第1学年から類型別の学習を開始

京都市・乙訓地域各通学圏における普通科の状況

(平成24年度募集)

通学圏名	高校名	第Ⅰ類	第Ⅱ類				第Ⅲ類		総合選択制
			人文系	理数系	文理系	英語系	体育系	英文系	
京都市北	山城	○	●	●					
	鴨沂	○			●				
	洛北	○			●		●		
	北稜	○			●	●			
	朱雀	○			●				
	嵯峨野	○	●	●					
	北嵯峨	○			●				
	桂	○	●	●					
	洛西	○	●	●					
	堀川	○			●				
	紫野	○	●	●				●	
京都市南	洛東	○							●
	烏羽	○	●	●			●		
	桃山	○	●						
	東稜	○			●				
	洛水	○			●				
	向陽	○			●				
	乙訓	○			●				
	西乙訓	○			●				
	日吉ヶ丘	○			●				
	塔南	○			●				

※ ●印：普通科第Ⅱ・Ⅲ類および総合選択制の選抜方法は、単独選抜

※ ○印：普通科第Ⅰ類の選抜方法は、単独選抜（特色選抜）および総合選抜（一般選抜）

平成24年度選抜 京都市・乙訓地域募集定員 【全日制】

